

# 市政を問う

今定例会では12月4日、5日に一般質問が行われ、13人の議員が質問に立ちました。その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。掲載事項は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、会議録を製本の後、三原市議会事務局、市役所情報公開コーナー、三原市中央図書館に置いています。また、三原市ホームページでも閲覧できますのでご覧ください。(会議録の製本には、議会終了後おおむね3カ月を要します。)

HPアドレス <http://www.city.mihara.hiroshima.jp> → 市議会 → 会議録検索



問 ペットの命が粗末にされる状況を減らすため、飼い主が正しい飼育方法をしなければならぬ。本市として、より積極

答 本市では、狂犬病予防法に基づき広島県動物愛護センターと協力し、保護などを行っており、平成24年度では8件12匹、25年度では11月末までに8回実施し、14匹を保護している。保護は、野外で繁殖した野良犬、野良猫が多数を占めている。全国的にも制度を有している自治体がある。今後、他市の成果などを研究し、検討する。

問 呉市では不妊・去勢手術の一部が補助されている。本市において、このような施策を実施する考えはないか。

答 不妊・去勢手術補助は、県内では1市1町で実施されている。

問 広島市は、市民球場などに命名権を設定し、収入を得ている。本市でも実施する考えはないか。

答 ポポロなどの、施設の命名権の導入については、愛称にも配慮し、地元企業の広告効果や地域貢献の一つの方法としての可能性なども考慮し、新たな財源確保という観点から、先進地の事例を参考にしながら制度導入の研究をしていく。



まさひろ ともはる  
政平 智春 議員

## 責任あるペット飼育を

野良犬、野良猫が増えることに対し、本市としてどのような対策をとってきたか。

問 野良犬、野良猫が増えることに対し、本市としてどのような対策をとってきたか。

答 関係機関と連携を図り、不適切な餌やりなどへの行政指導を行っている。

問 啓発活動が必要だと考えるが、見解は。

答 啓発活動について、今後も広島県動物愛護センターをはじめ関係機関と連携して、責任ある飼育について一層の市民啓発を行う。

## 公的施設の命名権の設置を

問 広島市は、市民球場などに命名権を設定し、収入を得ている。本市でも実施する考えはないか。